

愛鷹小中一貫教育目標 『志を持ち たくましく生きる人』(15歳の姿)
愛鷹中学校 教育目標 『夢に向かい 心豊かに 自ら学ぶ』

沼津市立愛鷹中学校

学校だより No.6

平成30年10月4日

回覧鷹根



四色の戦士たちが起こした ～ハンパない奇跡～

今年の鷹根祭は、完成度の高い合唱を作り上げた学級がいくつも
あり、感動を呼びました。また、各学年の学級対抗リレーでは、全
学級が第一走者からアンカーまで全力で走り、3年生学年種目31
人32脚では4クラスが一度も止まらずゴールを駆け抜けるなど、
目標に向かって心をついにした奇跡をいくつも起こしました。それ
までの練習、裏方の活動も含めて誰もが自分の良さを発揮し、互い
を認め合い、協力することの喜びを実感した成長の時となりました。



鷹根祭大看板 創作部制作

今年の鷹根祭は、私にとって1年生や2年生の時と比べ、違うところが2つありました。1つ目は、
中学校生活最後の鷹根祭であるということです。2つ目は、生徒会長として鷹根祭を運営していき、
引っ張っていく立場であったということです。

私はとにかく「楽しく」「思い切る」という言葉を常にイメージしていました。結果や成績に左
右されず、自分たちができること、自分が持っている技を出し切れたら良いと考えていました。私
たちのクラスは文化の部では、賞を取れませんでした。今までで一番気持ちよく歌えました。また、
合唱中は緊張よりも遙かに「楽しさ」の方が勝っていました。文化の部を通して、クラスの絆が深
まったことで、体育の部ではさらに気合いが入り、良い結果を残すことができました。

中学校最後の鷹根祭はとても充実したものとなりました。企画や運営など大変なこともありまし
たが、無事にやり遂げることができました。悔いはありません。残り少ない学校生活をこれからも
存分に楽しみたいと思います。

鷹根祭実行委員長 堀内優太

今年の文化の部も大成功を収めました。当日までの準
備や当日の生徒の動きの協力により、素晴らしい文化の
部を作り上げることができたと思います。本当にありが
とうございました。合唱コンクールでは各学年、各クラ
ス今までの練習の成果を十分に発揮できたのではないで
しょうか。どの合唱も一人一人の表現豊かな歌声がハー
モニーとなり、美しく響いていて良かったと思います。
今回学んだ協力の大切さなどを今後の学校生活に生かし
て生活していきましょう。

鷹根祭文化の部実行委員長 小川真由



今年の鷹根祭体育の部は、生徒会、学級三役を中心に準備
を行ってきました。しかし、一日延期になり前日準備がで
きませんでした。当日の朝、急な対応ありがとうございました。
そして、鷹根祭本番、すごく白熱した戦いでした。また、ト
ラブルなく進行することができました。皆さんの全力プレー
と協力に感謝します。これからは後期になり委員会などの組
織が変わり、これまでの取り組みを継続したり、新しい活動
を考えたりして生徒会活動を進めていくこととなります。今
回の鷹根祭での経験を生かし、全員でよりよい学校を作り上
げていきましょう。

鷹根祭体育の部実行委員長 森泉蓮

家庭を学びの環境に【自学・自習の姿】



- ①先生からのアドバイスを参考に、自分で学習計画を立てて取り組もう。
- ②始める時間と場所を家の人に宣言して取り組もう。
- ③課題の次に復習、最後に予習を行い、不得意教科の克服に努めよう。
- ④わからないことはそのままにせず、必ず友達や先生に質問しよう。

- ①受験に備えて、5教科バランスよく取り組もう。
- ②始める時間と場所を家の人に宣言して取り組もう。
- ③課題の次に復習、最後に予習を行い、不得意教科の克服に努めよう。
- ④わからないところは、友達や先生に聞き、確実に理解するようにしよう。
- ⑤1週間のサイクルで学習をふり返り、学習内容や方法を改善しよう。

- ① 早寝・早起き・朝ごはん
- ② 家庭での学習スタイルを確立しよう
- ③ テレビ・スマホなどの利用方法を考えよう

9月5日、10月2日の両日、静岡県教育委員会、沼津市教育委員会の方が愛鷹中の授業を参観され、生徒が落ち着いて授業に臨んでいる様子などを褒めていただきました。しかし、この良い姿に見合うだけの学力が身につけているかという疑問です。本来、人間には知ったことを忘れるという特徴があります。これを克服する（覚える）ためには繰り返し学習することが必要で、その手段が家庭学習です。この家庭学習の習慣がない、または不足している自覚がある生徒も多いと思います。このもったいない状況を改善して、授業で頑張った成果を身につけましょう。

皆さんの努力の道しるべになるように、愛鷹小中学校では、小中9年間の家庭学習のしおり（上の資料）を4月に配布しました。半年経って生かされているでしょうか。後期に入り、新たな気持ちで学校生活に取り組むこの機会に、是非、先々まで見通してしおりに示されたことを役立ててください。自分の時間を大切にして、学力向上のために努力を継続しましょう。

交通ルール みんなが守って「交通事故0宣言」

数十年前の愛鷹中生の作文に、道路を題材としたものがあります。要約すると、「愛鷹地区はまだ未舗装の道が多いため、運搬に使うトラックがそのがたがた道で故障することが多く、仕事が滞る様子をよく目にする。地域産業の生産性を高めるためにも、道路の舗装を急ぐべきだ。」という当時の社会に目を向けた内容で、車を安心して運転できる舗装道路の価値やありがたさが伝わってきます。今では、その光景が思い当たる教員、保護者も少ないと思います。

自動車で快適に移動することが当たり前になって久しい今、より快適で安全、かつ環境にやさしい次世代の自動車社会で運転者になる中学生に伝えます。先日、下校時間後に根方街道を利用する方から、学校にお怒りの電話をいただきました。内容は、鳥谷の道路を中学生3人が横に並んで歩いてたという事実と、その行動が命を失う事故につながるという意識を持っているか、という問いかけでした。運転する先に危険な状況を察知したら、自動車を止めるなどの安全行為をすることが免許証を与えられた運転者の義務。車の通りが多くて歩道も不十分な場所では、友人との語らいよりも安全を第一優先して歩行することは命を大切にする人としてあるべき行動。今は歩行者として、将来は両方の立場で行動に示せる人でありましょう。

日に二回、中学の正門前が騒がしくなります。登校時の挨拶運動の声。下校時の挨拶や友との会話。これに加えて、生徒の登下校に合わせた送り迎えの車両に対して、鳴らされるクラクションの音。二人で並ぶと車道に落ちそうな歩道を気にしながら、さほど見通しの良くない左右に振れる坂道を対向車も気にしながら運転する者にとっては、日々繰り返される学校前の駐停車や乗り降りは確かに迷惑な存在です。愛鷹中生、歩きなさい。歩いて登校できるように生活リズムを整えなさい。